

第5期区民会議 第1回運営部会審議結果報告について

審議テーマの数について → 審議テーマ数は2つを想定

- ・ 3つにした場合、各テーマの審議時間が短くなり、引継ぎ事項が残ってしまう。(前期の反省)
- ・ 2つ目の審議テーマは1つ目のテーマの審議がまとまった時点で再検討の上、決定する。
→これまでの審議経緯、各委員の意見を重視する。検討時期は今年度末～来年度始め頃の想定。
→新たにタイムリーな課題や緊急課題等の検討の余地を残しておく。

審議テーマについて**■中原区の1つの特徴としての新たに転入した区民の増加**

- ・ 再開発事業等により小杉駅周辺地域を中心に転入住民が多く、人口が増加傾向にある。
- ・ 子育て世帯が増加傾向にあり、子どもが多い。子育てニーズの増加にもつながっている。

■地域コミュニティにおける交流・助け合いの強化が必要

- ・ 転入してきた新しい住民、従来からの住民、共に地域に愛着を持って長く住み続けてもらいたい。
- ・ 価値観、世代、生活習慣、地域への思い等が異なる住民同士の交流、相互理解の促進を図り、地域の助け合い（共助）につなげたい。
- ・ 伝統文化、商店街、大型商業施設など、地域資源の再発見と共有を推進し、地域への愛着を育みたい。

■多様な区民や主体が一体となって取り組める、わかりやすいテーマが良い

- ・ みんなが生き生きと暮らせるようにしたい。(例：障がい者や外国籍市民の地域参加を推進する)
- ・ 町会、市民活動団体、企業、商店街など多様な主体が関わりやすいテーマがよい。
- ・ 目標や成果がイメージしやすい、見えやすいテーマがよい。(過去例：放置自転車対策など)
- ・ 子育ては重要な課題だが、2期続けて取り組んできた。視点を少し変えたい。(例：エコの活動の中で「子育てふれあいカフェ」の開催を検討していくなど)

審議テーマ(案)「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」**【選定理由】**

- ・ 全区民が当事者であり、多様な場で、みんなで、取り組めるテーマである
- ・ コミュニティの結束が高い地域ほど、よりきれいな地域が実現できるのではないか

【取組検討の方向性・ねらい】

- ・ 「地域コミュニティ」を意識して取り組み、成果を発表・発信することで地域の結束力を示すなど、地域の魅力発信につなげる
- ・ 子育てや教育の場と連携し、相乗効果を図る (例：子育てふれあいカフェでの展開、中高生の環境教育等)
- ・ 商店街や企業、自治会・町内会、市民活動団体、学校、家庭、外国籍市民、障がい者など多様な主体が参加できる場を用意する
- ・ 取組を通じて、環境への意識・知識・配慮を啓発し、高める。共に取り組み、連携することで地域への意識、愛着を育む